

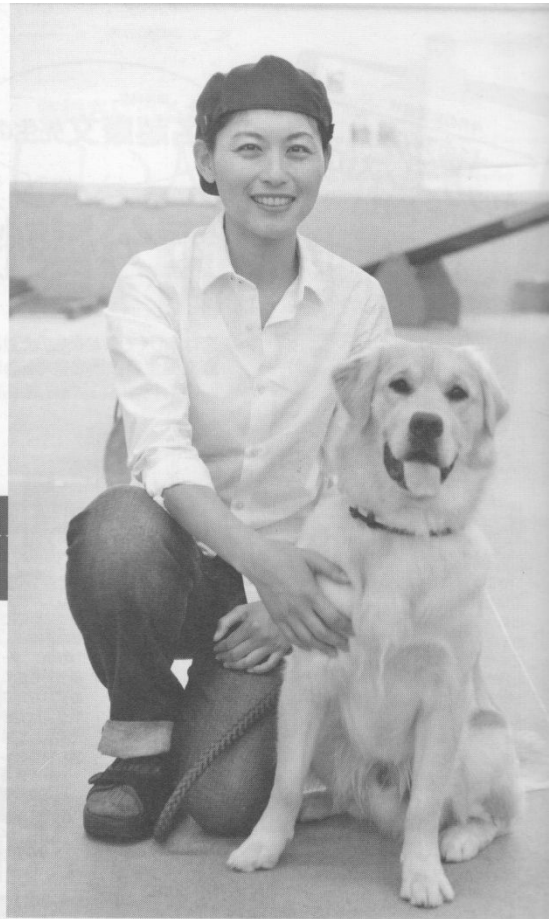
私の夢プロジェクト

Photo:HIRAROCK Text:Tomoka Sudo
Editor:Kei Miyagawa(léttara)

動物が大好き、海外留学もしたいと夢見ていた玉井響子さん。家庭の事情で大学進学を断念してからも、夢をあきらめず英国で出会った犬と人が共生している姿にヒントを得て、日本での犬と人の幸せな関係づくりを進めています。

Dogs By Nature 代表

玉井響子さん(36歳)



ひと組でも多く、犬と人の 幸せな関係をつくりたい

犬も飼い主も学べる
教育スタイルを実践

「一緒に暮らすことで、人も犬も笑顔になれ、ワンちゃんにとって飼い主のそばに居るのがいちばん楽しい」と思える教育をしています」と語る玉井響子さん。家庭犬のしつけ教室や子犬の保育園を企画・開催する玉井さんは、英国で学んだ知識や技術をもとに犬が楽しく学べる方法を提案しています。

この日、訪れたのは神原初聲さん・有紀さん親子と愛犬のけい君(ゴールデン・レトリバー MIX/11カ月)。飼い主の神原さんは動物愛護センターでけい君の人なつこさに惹かれて引き取りまし

たが、好奇心が強く活発で、時々手に負えない行動が見られたため、玉井さんに教育を依頼。この日が4回目のレッスンです。まず「君に「オイデ」を教えます。リード(綱)を放した状態で玉井さんが「けい君オイデ!」と呼ぶと、けい君はさつと走ってきてピタッとおすわりをします。まるで魔法のよう! そのとき玉井さんは「いい子だね」と、けい君を笑顔で思いきりほめ、ごほうびのおやつもあげます。続いて神原さんも同じようにやってみると、とてもうまくいきました。

玉井さんは神原さんに、タイミングよくインパクトの強い声(高音で短い声など)で呼ぶこと、犬が思わず楽しくなってしまうような動きで犬の興味を引きつけること、それにより犬は飼い主のそばに駆け寄れば笑顔でほめられ、時にはおやつがもらえるなどの「うれい」ことがあるなど、行動を通じて人と犬がお互いに歩み寄ることが重要だと説明していました。するとけい君が空気に参加するように、「元氣よくほえ始めました。犬がほえるには理由があり、その一つに「注目を集めたい」という心理があるそうです。ほえることで飼い主にかまってもらえたという過去の学習経験もかわっているとか。これまで互いの心を分かち合い、理解を深めるトレーニングを続けてきた神原さんとけい君。



「静かに!」という神原さんの言葉に、けい君はすぐにおとなしくなりました。このように犬への理解を深め、飼い主が正しく行動するよう適切な指導をする玉井さん。レッスン中にも「この犬は何故こういう行動をするのか」「その場合どうすればよいのか」

の行動学や心理の理解を深め、飼い主が正しく行動するよう適切な指導をする玉井さん。レッスン中にも「この犬は何故こういう行動をするのか」「その場合どうすればよいのか」

玉井さんが目指すのは「犬と飼い主との幸せな関係」をつくること。「私は飼い主さんが望む、自分とワンちゃんとの暮らし方を一緒に考え、その人やワンちゃんに合った方法で、絆を深めるお手伝いがしたいのです」

初めての「アジリティ」体験



イギリス発祥の「アジリティ」は、いわば犬の「障害物競走」。今日は神原さんもけい君にとっても初めての挑戦。



神原さんの上手な誘導で、けい君は1回目からクリア!



「「けい君、お顔を見せて!」と、神原さん。心も体も向き合えるようにトレーニング。

「とても楽しかった!」うちに来たことでけい君にもっともっと幸せになってほしいな」と語る神原さん。

犬と人のHAPPYな暮らしを応援する!
DogsByNature, LLC



犬のしつけ教室、子犬の保育園、外出時に犬を預かるドイケアなどのサービス内容の紹介のほか、玉井さんのブログなども。

<http://dogsbynature.net/>